

静中静高同窓会報

第182号

【次は2025年5月】

発行所 ■ TEL 054-246-2256
〒420-8608 静岡市葵区長谷町66
静岡高校内 静中静高同窓会
メール (shizuhito-dosai@post.kanagawa.ac.jp)

■ 印刷所 ■ 同窓会報編集委員会
〒420-0922 静岡市葵区通センター12番1号
電話 054-263-2435

同窓会総会 11月9日

記念講演は今井健太郎氏(銭湯設計)

令和6年度同窓会総会は、11月9日午後3時から、静岡市のJR静岡駅北口前、興味深い話が語られます。誰かが身近に感じる「お風呂」ですが、意外と知らない「銭湯」という湯空間の開催します。主幹事を101期、副幹事は103期、112期が最前線に当たる絶好の機会務めます。前年に引き続き、参加には事前申し込みを、参加には事前申し込みをお願ひし、皆さまの協力を深く感謝します。

今年総会の後、銭湯設計の第一人者である一級建築士・今井健太郎氏(102期)の記念講演を開催します。高校時代、その卓越した美的センスで同期から一目置かれていた今井氏は現在、東京都内を中心に全国で銭湯の再興に取り組んでいます。「湯空間の設計」と題したこの講演では、今井氏が銭湯設計を手掛けることになった経緯(102期実行委員会 佐藤智也、実際の作品が紹介され

主幹事102期

建築士・今井健太郎氏(102期)の記念講演を開催します。高校時代、その卓越した美的センスで同期から一目置かれていた今井氏は現在、東京都内を中心に全国で銭湯の再興に取り組んでいます。「湯空間の設計」と題したこの講演では、今井氏が銭湯設計を手掛けることになった経緯(102期実行委員会 佐藤智也、実際の作品が紹介され

12分野で進路講演会

卒業生講師は6人

職業選択を考える際に参考となる話を各専門家が在校生に語る本年度の「進路講演会」は10月25日、静高の各教室で開催する。講演対象の職業は12分野で、6分野の講師は卒業生が務める。

講師は毎回、PTA企画委員会が卒業生などから選考している。

今回の講師は次の通り。(敬称略、卒業生は期数表)

①文学 岡田真理(113期、テレビドラマ脚本家・小説)

②社会 儀賀真由子(125期、マナーコンサルタント)

③経済・経営 中里実(前政府税調会長・東京大学名誉教授)、神津信一(日本自治医科大学教授)

④国際 隅谷佳織(英語通訳・法廷通訳士)

⑤マスコミ 袴田彩香(125期、フリーアナウンサー)

⑥音楽 ヤマトシヨウ(作詞作曲家・音楽プロデューサー)

⑦薬学 桜井和子(100期、静岡県立総合病院薬剤部)

⑧医学 藤原寛行(100期、学農学部特別荣誉教授)

⑨看護 増田澄恵(元静岡)

⑩建築 石山央樹(110期、大阪公立大学大学院准教授)

⑪工学・技術 原昌宏(デンソーウェアUP主席技師)

⑫農学 河岸洋和(静岡大学農学部特別荣誉教授)

先輩の活躍に将来を探る

関東同窓会が協力



先輩の活躍に学ぶことが多かった「キャリアデザインツアー」の参加者

1、2年生の希望者72人が参加した「静高キャリアデザインツアー」が8月22、23日に行われた。このツアーは、キャリアについての考えを深め、進路選択の足掛かりとする目的で実施している。

事務局から

次号原稿・写真3月末締め切り

「静中静高同窓会報」に多くの原稿・写真をお寄せ頂きありがとうございます。併用の写真には必ず説明を付けて下さい。原稿と写真はメール(題字下は来年3月末日です。原稿は1行12字詰め、同窓会同期会報告は45行、その他原稿は80行以内でお願いいたします。

次号183号は来年5月発行で、原稿・写真の締め切りは来年3月末日です。原稿は1行12字詰め、同窓会同期会報告は45行、その他原稿は80行以内でお願いいたします。

4部活が「全国」へ 陸上競技9年ぶり

在校生の部活は今夏、マンドリン、放送、棋道(将棋)、陸上の4つが全国大会に出場した。陸上の全国大会進出は9年ぶりの快挙だった。一方、野球は県大会ベスト4に終わった。

放送はNHK杯全国高校放送コンテストで、朗読部が最優秀賞を受賞した。



陸上競技で9年ぶりに全国総体出場を果たした鈴木勇飛選手

東海総体では山岳が女子団体で優勝、男子団体が準優勝の好成績を残した。山岳女子団体は前年に続く優勝だった。男子団体も昨年準優勝している。

私たちは認定された補聴器のプロです。

最新機種を取り揃え、当店の認定補聴器技能者により独自のトレーニングプログラムで一人ひとりに寄り添い全力でサポートいたします。まずはお気軽にご相談ください。

同窓生とご家族の皆様には、特別にご優待をさせていただきます。

完全ご予約制 ▶ 0120-252-876 | info@coralbell.com

補聴器・宝石・時計・メガネ

コーラルベル

http://www.coralbell.com

(株)ラフィネ・サガフ 静岡市葵区東服町2-1-9 東服町プラザビル1F 営業時間/10:00~19:00(日・祝は18:00まで)・水曜定休

佐川 博(84期)・佐川里美(88期)・雅子(119期)・朋子(123期)

みなさまと共に明日を創る 鈴与グループ

私たちは200年を超える歴史と約140社のグループ会社で、物流・エネルギー・建設・食品・情報・航空・レジャーなど幅広い分野に挑戦を続けています。

鈴与株式会社 www.suzuyo.co.jp

採用情報は こちら

同窓会・同期会

8年ぶりの同期会に51人が元氣な顔を見せた

8年ぶり 大声で歌う



71期の同期会が6月3日、J.R.静岡駅前タワーマルシェにて開催された。古希、喜寿、傘寿、米寿を祝う会として開催された。来賓として89期三浦俊一元静高教諭に出席して頂いた。同教諭はわれわれが在学中世界史を教えていただいた故三浦孝一教諭のご子息です。土屋國男君の司会で会が始まり、鬼籍に入られた恩師、同期生の方々のご冥福を祈り全員で黙祷をした後、荻野覺君が幹事を代表して開会の挨拶、三浦先生の挨拶、さらに池端達雄君から出席者が51人、付き添い2人であることが報告された。次いで、アメリカから帰国した鳥居欣一君の乾杯の音頭で開宴した。祝宴の波はテーブルごと

71期 米寿祝い51人

祝宴の波はテーブルごとに始まったが次第に拡散

各地から仲間が集まった85期同期会＝静岡市葵区のグランディエールブuketーカイで



85期

会場満たす笑顔

85期の同期会。8月5日、静岡市葵区のグランディエールブuketーカイで開かれた。北海道、大阪など各地から48人が集まり、懐旧のひと時を楽しんだ。懐かしい友人たちとの再会に開会前から会話が花が咲き、会場は笑い声で盛り上がった。幹事代表を務める五十住學君がユーモアあふれる挨拶を述べ、大阪から出席した萩原大二郎君の音頭で乾杯した。古希を過ぎてはいても、出席者たちの面影に、時が戻ったような2時間、欲談を

し、あちこち移動しての話がはずんだ。みんなの心が一番高い母校の野球部の現況については望月重里から春の県大会で準優勝した、と報告があった。宴もたけなわになって、

浦田彰君はじめ東京組の歌など。コロナ禍で控え面々が壇上に整列し、伊藤勝君のギター伴奏に合わせ、会場一体となった大合唱が始まった。曲目は校長の長谷川至君のリードで校歌、道遠歌を皮切りに応援歌第一、第二、第三、希望

100人超が元氣に集う 恩師も4人

87期

87期の前回の同期会は2018年1月。3年後の21年に卒業50周年同期会として開催すべく19年から取り組みましたが開催がなわず、6年を経た今年3月23日に開催となりました。6年前の参加者は101人。減少を懸念しましたが、103人が元氣に参加。うれしいことに恩師4人も高齡を押し参加いただきました。開会に先立ち、物故された25人の同期生を偲び、黙祷を捧げました。応援団OBのリードによる校歌斉唱、乾杯を経て、6年ぶりの再会の喜びが爆発しました。恩師の先生方からは懐かしいエピソードの数々の披露がありました。ハイライトは、「懐かしい写真」の上映。同期生の皆さんに呼び掛けて「あの頃の写真」を提供してもらい、会場の大スクリーンに映し出しました。クラスの集合写真、印高祭、クラブ活動、甲子園出場などなど、写真中に自分の姿、懐かしい友人の姿を見出し、時間があつたという感じが、2時間はあつたという間、再会を約して閉会しました。(87期 佐藤敦男)



100人超が集まった87期の同期会の1シーン

84期

84期は6月1日、75歳の会を静岡市の中島屋グランドホテルで開催した。90人(女性は16人)が参集。同期会は7年ぶり。受付で会費一万円を納め、名札を受け取る。参加者はお互いに顔と名札を見交わして、高校時代の面影を探り出す。

私たちは団塊の世代と呼ばれ、昭和40年に静岡に入学。当時の興味や熱中、学友との出会いは今でも貴重な財産となっている。森本直生君の司会で会は進む。興津哲雄君が「久しぶりの開催。多くの仲間が集まってうれしい。高校時代に立ち戻り、会を楽しみ

90人で“75歳の会” 記憶たどり 会話進む



84期同期会に参加した90人

ましよう」と挨拶した。物故者への黙祷、校歌斉唱、その後は記憶をたどり唱、全員での記念写真と進ながらの懇親が進む。

会の半ばでリモート参加者が紹介された。85歳になった恩師豊田一男先生も画面に登場して盛り上がる。クラス別写真の撮影、道遠歌などの合唱の後、久住和茂君が「この年齢まで生きていくことに感謝。これからも静岡を応援したい」と閉会の挨拶をする。時間は瞬く間に過ぎた。久しぶりの再会の感激や対面時の笑顔は、名残惜しさとなり、いくつもの輪となって街中へ向かった。私たちに体力、認知力の低下は確かにある。でも社会や仲間とのつながりは引き続き持ちたい。今までの経験、知恵、知識をもっと話したい。そんなことを確認したい、再会を誓った。(84期 望月利孝)

13人が出席し話が弾んだ68期の同期会



68期

13人、卒寿越え 話弾んで「来年も」

68期の同期会を6月7日、J.R.静岡駅南口のホテルで開きました。卒業した昭和27年はまだ戦禍からの復興途上でしたが、大学卒業の頃から経済成長期に入り、国内ばかりか海外まで飛び回る転勤が激しい時期が続きました。50歳代に入りやと居場所が温まるようになり、居所が定まり定期的に同期会を開く環境が整いました。同年の卒業生以外に途中転出や留年組をも加えて40人に近い大所帯で、3年ごとに同期会を定期開催し、100人を大幅に超す盛況が続きました。創立百周年などの事業や、甲子園出場の後援活動などで同窓会に68期は恥ずかしくない貢献をし、誇りに思います。広い分野で第一線を牽引した戦士も卒業70年を経た昨今、過半は鬼籍に入り、残る者も体力の衰えが進んでいます。「同期会が三年ごとでは次回参加できるか分からない」と今は毎年開いています。昨年は卒寿を祝う区切りの中で、20人の参加がありました。今年は一桁でほとんど心配しましたが、13人の出席を得ました。息子夫婦に、また娘さんに付き添われて来場するなど、この会を大事にして下さる方も多く、足腰が弱っても集まれば話が弾み、和気あいあいのうち再会を約し会を閉じました。来年の同期会は6月9日、同じ会場を予定しています。(68期代表理事 大石博司)

Lighting for Your Safety

安全を光に託して
人とクルマの安全は私たちの願い

株式会社小糸製作所
本社：東京都品川区北品川5丁目1番18号 TEL:03-3443-7111
国内工場：静岡、榛原、相良、富士川、九州
海外工場：USA、メキシコ、ブラジル、UK、チェコ、中国、台湾、タイ、インド、インドネシア、マレーシア
小糸静高会 会長 大嶽隆司(74期)

同窓会・同期会

静高入学時約400人いた69期の同期生は、70年の時を経て200人余りとなつてい

69期

卒寿記念し17人

5年ぶり 県外からも



卒寿記念に開催した69期同期会の参加者

9日の正午に静岡市内の中島屋グランドホテルに参集した。年齢と安全に配慮し、今回は無理のない呼びかけを行い、時間も日中と



5年ぶりの同期会に県外を含め25人が顔をそろえた

コロナ禍で中断していた73期同期会「73会」を7月3日、5年ぶりに静岡市葵区の中島屋グランドホテルで開催しました。

73期

やっと開催 元気に25人

近況報告続く

訂正 181号3面の69期一木会の記事で「20年余りの長い間遠ざかっていた野球部の甲子園出場」とあるのは「10数年の」の誤りでした。

大村春樹君は今回も東京から油彩画大作を搬入するなど充実した展示でした。



73会展16回目 7人が自信作 静高73期同期会有志による作品展「静高73会展」が6月27日から7月3日まで、静岡市葵区のしずぎん

総会参加者は懇親会で高らかに希望の歌などを歌った



総会、懇親会に138人

関東同窓会

関東同窓会は7月6日、東京・日比谷の日本プレスセンターで本年度の総会を開催しました。



講演会の質疑に丁寧に回答する小澤吉徳氏

恒例の野球部情報

講演会 具体的な質疑も

毎年恒例となった野球部イムでは静岡市内の具体的な紹介では、静高野球部後援会が飛び交い、多くの方から身近な問題と認識され

本校創立150周年に繋ぐ幹事期企画として、左記の2曲の歌を心を込めて合唱し、力強く「フレ、フレ、静高」



新チームを力強く後押しするご支援をお願いします!

静高野球部は142期の石橋咲人主将、石垣大輝副主将を中心とした新チームが発足し、夏の悔しさを原動力に変えて日々精進しております。



Since 1896



後援会会員随時募集中!

- 正会員 (二口 10,000円以上)
準会員 (一口 5,000円)

※40歳未満の方、卒父母会(*)の方は、一口5,000円で正会員とさせていただきます。



@yakyubu_koenkai
www.yakyubu-koenkai.jp

最新情報は公式HPをご覧ください

静高野球部後援会

夏、準決勝で逆転負け

痛恨 9回表に落とす穴

高校野球

静岡高校野球部は今年、池田新之介監督(12期)が投打にまとまった好チームをつくり上げ、春の県大会で準優勝して夏の甲子園を目指したが、あと一歩及ばなかった。公式戦の戦跡を振り返る。(編集委員)

春は東海大会進出

夏の選手権静岡大会は7月6日に開幕した。今夏からシード制に変更があり、昨年までの春季大会上位8校から上位16校にシード校が増えた。Aシード4校、Bシード4校、Cシード8校で、春準優勝の静高はAシード。

3回の戦の掛川工戦は前半で6点をリード。九回に2点を返されたが危なげな反発バットを使用する新基準が適用され、投手力を含めた守りの重要性が問われる大会になった。

3回の戦の磐田東にも4-2とやや苦戦。谷脇は5回無失点だったが、増田が2失点。最後は吉田が締め切った。準々決勝は日大三島に6-3の逆転勝利。増田、梅沢、谷脇のリードだった。

今夏は本校が甲子園球場竣工開幕戦に初出場して百年の至り(公立の雄S高出る幕無し)でした。さて来年度の勝利を大応援で飾り、県立大社が107年前の活躍した。静中3-2愛知

秋は残暑日に低反発バット導入以来初の五回コールドの猛攻で静岡農に11-0の好スタート。「目にもさやかな秋の振りかぬる」と、皆で詠み、秋の東海(庵原・草薙球場で開催)目指して応援。今、聖隷クリストファーに公式戦ゼロ勝3敗、常葉大菊川にも秋春同3連敗の現実を受け、皆さんのこれまで以上の協力によるオールシーズン野球が切に望まれます。

野球部に新車バス

後援会など 20年ぶり更新



4月25日、静高校舎前で静岡浅間神社によるお祓いを行った納車式

平成16年から20年間にわたり野球部の移動手段として使用してきたバスが老朽化し、いよいよ選手たちの安全を脅かす危険な状況となってきました。このため静高野球部後援会は、野球部・OB会・父母会と協

働して令和5年12月にバス購入のプロジェクトを立ち上げました。公式ホームページ上に特設サイトを設けて広く協力を仰ぎ、今年3月までに256の企業・団体・個人の皆さまから1600万円をいただきました。後援会のバス積み立てを合わせ、旧来と同サイズの新型の中型バス(TSUZUGALAM IOMI2)を購入。4月25日に納車され、その2日後の春季県大会3回戦から使用を開始し、公式戦やチーム強化のために欠かせない遠征の移動手段としてフル稼働しています。

5月6日、ゴールデンウィークの最終日。草薙球場で、静高vs静岡野球定期戦を観戦しました。マーチングから見たのですが、両校とも高校生らしさを表現した特色のある応援を披露し



静高-静岡野球定期戦のスタンド

定期戦 伝統がががしく

108期 杉山浩一氏

と整列し、すがすがしさを一つのプレーに真剣に取り感じました。第66回の伝統ある定期戦であることを、ききました。1回表裏にエースのみなさん、観客も意識して思え、お互いをリスペクトする雰囲気があります。試合に先立ち、始球式に投げた静高の校長先生の球が、球威がありストライク気味の球で歓声が上がりました。試合もさることながら、応援や校歌が新鮮で、生で見たり聴いたりすると違うのだなと感じました。アナウンスを担当した高校生、生徒代表の言葉を話す高校生にとっては、人生を歩む上でよい経験になったでしょう。定期戦という文化を通して多くの高校生

しさを糧に「甲子園優勝」の目標に向かって地道に精進を続ける野球部を今後も力強く支援していきます。(野球部後援会事務局)

同窓生の皆さんもぜひ協力をお願いします。(野球部後援会事務局)

が成長することができるかと考えると、大事に続けていってほしいです。卒業生として、応援できるということも一つの幸せです。バックネット裏で観戦したのですが、多くのファンに見守られて和やかに進む試合に、野球を通して両校を想う人たちの気持ち

岳南球友会

春も夏も全力応援

一中)から百年、いよいよ岳南復活物語も佳境です。光る百年を願う岳南球友会(会長・70期望月一男内野手)は、今春東海大会で長良川鶴飼体験、初夏に安全健康打ち合わせ会、猛暑の夏は草薙でエース谷脇の熱投や本校史上初の5投手継投(全員135キロ以上)などを応援。



家族や知人など一緒になって草薙球場で応援

Ichimaru Group
株式会社いちまるステイムレート
株式会社いちまる 松友水産株式会社
株式会社富士屋 株式会社いちまるホームینگ

グループ代表 松村 友吉 (88期)

リフォームは いちまるホームینگ

起業したい! 会社を設立したい!
同窓生を全面的に応援します。

https://www.m-mao.jp/

税理士法人 RASHIんばん
羅針盤

〒420-0061 静岡県静岡市葵区新富町 1-23-19
TEL: 054-252-2532 FAX: 054-252-2534

税理士・社会保険労務士 望月 重樹 (105期・SWMC31期)
税理士・中小企業診断士 望月 重里 (71期)

著書のご案内
『個人事業フリーランスの始め方と手続き・税金』 令和4年12月発行
『個人事業フリーランス消費税』 令和5年9月発行

県1位、東海2位で陸上、全国総体に進出

3000m障害 鈴木勇飛君(2年)

した。参加選手は2年鈴木勇飛君、種目は3000m障害です。2年生ではありませんが、県大会を1位、東海大会を2位で通過して全国大会の出場権を獲得しました。

今年大会は、7月31日に福岡県の博多の森陸上競技場で行われ、自己記録の更新と決勝進出を目標に出場しました。結果は自己記録より15秒以上遅いタイムで、予選敗退となりまし

将棋 全国高校選手権

男子団体、決勝ならず

8月1〜3日、岐阜県で開催の全国高校将棋選手権大会(ぎふ総文2024)に、男子団体戦静岡県代表として棋道部(3年武田華成さん、土屋純さん、2年



団体戦のメンバー。左から武田華成、大石裕貴、土屋純選手

大石裕貴さん)が出場した。一昨年の同大会では3位入賞を果たしていたため、今年さらには上位入賞を狙っていたが、予選17位で残念ながら予選リーグ敗退となった。

今大会が最後の公式戦となった武田さんは高校3年(棋道部顧問・99期 竹内

69期の私は4月で90歳を越えたが、中学時代から撮り続けた自動車の写真は、命名された「ダット」(脱定期後も外国のイベントや博物館に足を運び17万2千枚を超えている。これらの写真を用いて世界中の自動車メーカーのホームページに毎月連載している(三樹書房エムペースで索引)。

2013年1月「A」から始め、今8月までに134回続けているが、135回に「日産自動車」を取り上げ、戦前の「ダットサン」について調べていて意外な事実を発見した。「ダットサン」は、「田健次郎」「青山

ダットサン命名由来の青山禄郎

静中の大先輩と知る

69期 浅井貞彦氏

岡崎市で「鈴木禄郎」として生まれたが、高等小学校卒業後「静岡中学校(旧制)」に入学、「東京郵便電信学校」を経て「通信省」に入り1904年退官、その後各社の役員を務め1940年亡くなっている。「静岡中学」を卒業したのは多分1891年(明治24年)頃と思われるが、「青山家の養子」となったのが1892年なので、静岡中学時代は旧姓「鈴木禄郎」だったと思われる。名前が変わっていることもあり「著名な出身者」のリストからも漏れているようだが、資料があれば確認して登録してほしい。日本を代表する「ダットサン」の名前に、わが校の大先輩が関わっていたとすればなんと誇らしい。(69期 浅井貞彦)

柔道部

現役の練習支援など

総会で方針 新役員も選出



活動計画や会費徴収などを検討し承認した柔道部OB会の総会

り部への昇格を確信している」と報告した。5年度の活動報告では、議長望月会長から①年間13回のOB会としての練習支援があった②令和5年10月には、柔道部存続について織田校長に面会しOBの思いを伝え

5年度の会計報告と6年度の予算について説明した。6年度はOB会会費の徴収を予定しているとの説明があり、全会一致で承認された。

本年度は役員改選の年であるため、新役員案が議長から提案され、これも全会一致で可決した。新役員として吉沢修一氏(83期)、南条智則氏(118期)、森直之氏(131期)が新たに任命された。慶事として、長嶋太郎氏(105期)が静岡市スポーツ協会から令和5年度の優秀指導者として表彰されたことが報告された。

また、令和6年度の活動計画として年4回の練習支援、新入生歓迎会、年越しそばの会、静大での合同練習会(令和7年2〜3月)が挙げられた。心身ともに現役生の支援をしようという、OB諸氏の思いが

また、令和6年度の活動計画として年4回の練習支援、新入生歓迎会、年越しそばの会、静大での合同練習会(令和7年2〜3月)が挙げられた。心身ともに現役生の支援をしようという、OB諸氏の思いが

また、令和6年度の活動計画として年4回の練習支援、新入生歓迎会、年越しそばの会、静大での合同練習会(令和7年2〜3月)が挙げられた。心身ともに現役生の支援をしようという、OB諸氏の思いが

柔道部OB会は6月29日、静岡市葵区の居酒屋で令和6年度総会を行った。出席者9名。74〜131期の各氏が出席した。

石村代表幹事の開会の挨拶のあと、恒例の物故者への黙禱を行った。初めに望

月会長の挨拶があり、OBの必死の柔道部保留の働きかけもむなしく同好会に降格になった②鳥光高弘顧問が急に他界されたため河合透先生が顧問になられた③新入部員が5人入部し1〜3年生合わせて7人にな

また、令和6年度の活動計画として年4回の練習支援、新入生歓迎会、年越しそばの会、静大での合同練習会(令和7年2〜3月)が挙げられた。心身ともに現役生の支援をしようという、OB諸氏の思いが

また、令和6年度の活動計画として年4回の練習支援、新入生歓迎会、年越しそばの会、静大での合同練習会(令和7年2〜3月)が挙げられた。心身ともに現役生の支援をしようという、OB諸氏の思いが



卒業後、初のクラス会は大いに盛り上がった

卒業して29年、112期38HRの同窓会が8月10日、クラスメイト22人で静岡市の「船正」で開催されました。クラス会の開催は初めてです。卒業以来の再会も多く、また、ありがたいことに当時クラス担任の大石正晴先生も参加してください、大いに盛り上がりまし

今回、ほぼ30年を経て短期間でこれだけ多くのクラスメイトが集まり、あつという間に同窓会の開催に至ったのはまさにSNS時代のおかげでした。今後もSNSを通じての交流や、実際の同窓会の開催を続けていく予定です。(112期 小川直人)

卒業29年、初の開催

契機はグループLINE

112期38HR

卒業して29年、112期38HRの同窓会が8月10日、クラスメイト22人で静岡市の「船正」で開催されました。クラス会の開催は初めてです。卒業以来の再会も多く、また、ありがたいことに当時クラス担任の大石正晴先生も参加してください、大いに盛り上がりまし

今回、ほぼ30年を経て短期間でこれだけ多くのクラスメイトが集まり、あつという間に同窓会の開催に至ったのはまさにSNS時代のおかげでした。今後もSNSを通じての交流や、実際の同窓会の開催を続けていく予定です。(112期 小川直人)

静岡のおでんとお酒と黒はんぺん

静岡おでんガッツ

岳南健児の大切なお集まりやちょっとした息抜きに

03-6273-8663
http://shizokaoden-guts.red/
@ShizokaOdenGuts
@shizokaoden_guts

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場2-19-8 阿部ビル1階
代表 市川 徳二(112期)

バスケット新年初試合・新年会のご案内

昨年度に引き続き、母校体育館にて新年初試合を行います。OB・OGの皆さん、奮ってご参加ください。バスケットボール部OB・OG会

令和7年1月2日(木)
12時〜OB・OG対抗試合、13時30分〜現役vsOB・OG戦、15時〜現役激励会
※詳細はHPとOB・OG会報(12月中旬発行)にてご案内します。

◆FacebookにOB・OG会グループを開設中◆
近況や大会情報などを掲載しています。Facebookご利用中のOB・OGの皆さん、ぜひグループにご参加ください。参加には既に参加しているメンバー(現在125名)からの招待が必要です。詳しくは下記事務局までメールでご連絡ください。

※グループメンバーだけが閲覧、書き込みができる設定で、メンバー以外は非公開のグループです

HP:がんばれ!静岡高校バスケットボール部
http://shizukobbcb.wordpress.com/
OB・OG会報が届いていない方は、お名前・卒業期・ご住所を下記までご連絡ください。
shizukobbcbog@gmail.com OB・OG会事務局

82-84期、100号記念や縮刷版

元新聞部員

半世紀ぶり 思い出共有

新聞部に在籍した82〜84期のメンバーが6月16日、半世紀ぶりに静岡市のホテル中華料理店で会を開いた。当時は女性部員も居たが、この日出席できたのは土橋幸彦(82期)、小林時正、島崎幸雄、仁藤邦夫、村上潔(以上83期)、飯倉泰男、望月利孝(同84期)



半世紀ぶりに顔を合わせ思い出話で盛り上がった元新聞部員

の男ばかり7人。あまりに久しぶりで、店前で出会った際には誰か分からなかった顔も、一言二言話せばすぐにはアメリカ在住の山田と

隆俊(83期)もリモート参加し、さらに盛り上がった。このメンバーが中心にな

だもう一つが縮刷版の発行だ。これまでの紙面を縮刷版にまとめたというの

68期から120期まで約30人が集い楽しい時間を過ごした



水泳部OBOG会 盛んに昔話

歴史が紹介されました。加藤軍平先輩(77期)の乾杯の後には老若関係なく昔話に花が咲き、お互いの近況報告で盛り上がりました。大幅に時間超過するくらい楽しいひと時でした。

活動を共に行ったメンバーだけに思い出も多く、当時の写真や品々を見ながら楽しい歓談が続いた。(82期) 土橋幸彦

アートクラブ講演会

静高美術同好会(静高アートクラブ)は2月3日、将来の在り方について講演を行いました。内容をご紹介します。(アートクラブ 幹事 73期 大石安任)

静岡商店街の再生と更新

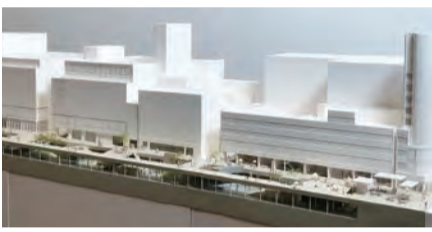
居場所としての「道」 緩やかに解体と新築

(1)静岡のまちはどこから 動きが走る道路幅で街区同士の関係性が決まるように

静岡市は家康の城下町の都市構造にその由来を持ちます。駿府城下の町人街の碁盤の目状の街区は、西は

安倍川橋から東は伝馬町を通り横田町へと抜ける旧東海道が東西の人流をつない

てきました。しかし近代になって鉄道と地上商店街からなり、静岡岡の玄関口や歩行者のメイ



紺屋町の通りで地上と地下を繋げる

と、この旧東海道の動線に南北を走る御幸通り(井川湖御幸線)が変化を与えま

す。呉服町、紺屋町から御幸町、鷹匠、伝馬町へと抜ける連続性が幅24mのこの

道路によって希薄になり、五差路の存在も含めて、自

らに我々は再開発での「建築」ではなく、「道」の存在に着目しました。紺屋町の

防火帯と呼ばれ街区の不燃化に寄与してきた「呉服町通り」を形成する街並みも60年以上が経つ老朽化

耐震性、空きテナントなどの問題が浮上しています。

呉服町の良さは、昼夜問わず賑わいがあり、高層建築にはない明るく親しみ

のある街並みにあると言えます。建替えを計画するに

ちつつ、商店街の機能と賑わいを途絶えさせないで、ゆっくりと解体と新築を繰り返す手法の中に、世代を



母校印高館に 会員作品30点 アートクラブ展

第27回静高アートクラブ展「印高館」写真は6月6〜11日、学校と同窓会

の協力を得て母校の印高館で開催しました。以前は現

役の皆さんの印高祭に協賛(74期)、浦田周社(同)、

影山善次郎(同)、寺田亮一(75期)、青木紀賢(76

期)、朝比奈玄甫(80期)、本田君江(同)、中村葉子

(87期)の12人。今回も絵画、版画、書、写真など約30点を展示。それぞれ若さと感性を磨く努力を続けて

います。来年も印高祭の時期に、新作を発表します。また、秋10月7日から14日には静岡市役所市民ギャラリーで第28回静高アートクラブ展を開催しました。(73期) 大石安任

静中静高水泳部OB・OG会は8月11日、68期から120期までおよそ30人が集い、5年ぶりに懇親会を開催しました。高井俊祐会長

(87期)の挨拶に始まり、その中で水泳部創部125年の

活動を共に行ったメンバーだけに思い出も多く、当時の写真や品々を見ながら楽しい歓談が続いた。

高校生の心を掴む 企業PR

半年間授業に協力して 社会貢献と自社PRを実現

経営者・人事担当の方 こんなお悩みありませんか?

- 高卒採用のための新しいアプローチを模索中
・わかりやすい貢献活動を探している



探学のミカタ 株式会社 代表取締役 127期卒 鈴木秀喜(旧姓:土屋)
授業内では ECサイトデザイン 会社紹介動画 商品紹介ポスター イベントマップ作成 など 会社からのミッションに 取り組んでいます
HPで 詳しい情報を チェック!

教育講演会 詳報

同窓生が仕事や人生での体験や教訓を在校生に語る「教育講演会」は本年度、94期の原田慶恵氏(大阪大学 蛋白質研究所教授)を講師に迎えた。原田氏は「好奇心が原動力。いろいろな経験をして進んでいこう」をテーマに、自分の歩みや時々の研究課題などについて話した。

私は現在、大阪大学蛋白質研究所で生物物理学の研究を行っています。私が所属している大阪大学蛋白質研究所は、化学・生物学・物理学・医学の研究者が集まり、日本のタンパク質研究の中核として学術研究に貢献しています。私の研究の究極の目的は「生命とは何か」を知りたいということです。からだを構成する細胞の中では、さまざまなタンパク質分子が働いています。生き物のことを知るためには、タンパク質分子が働くしくみを調べるのがとても大事です。私たちはこれまで、光学顕微鏡を使って、タンパク質分子が働く様子を直接観察する方法を開発し、タンパク質が巧みに働くしくみを調べてきました。最近ではタンパク質が働く場所である細胞を理解するために、細胞の観察も行っています。

仲間増やす心掛け大切

多くの経験重ね進むもう



①講演する94期の原田慶恵氏
②在校生と交流する原田氏

「生命とは何か」好奇心が原動力

大阪大教授 原田慶恵氏(94期)



放課後のギターマンドリンクラブの活動が楽しみで、話して、皆さんにエールを送りたいと思います。マンドリンの演奏はあまり上達しませんでした。観光名所はもう

まず、自己紹介をします。小さいときは本を読むのが好きで、たくさん本を読みました。今は多くの仲間や友人がいますが、小学校、中学校時代は周りの人とうまくコミュニケーションをとることができず、親しい友人はいませんでした。高校入学後はクラスに友人もでき、楽しく過ごせるようになりました。特に

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

が、部活の仲間との交流は楽しく、充実した高校生活を送ることができました。高校生活はわずか3年間ですが、当時は生物学が大好きで、当時の友人は育ってきた環境が似ていることも、人数も少なかったが、茨城大学理学部生物学科に合格することができました。大学院に進学し、専門分野を

令和6年度

静中・静高同窓会総会 開催のご案内

2024年11月9日(土曜)

14:30 ~ 受付開始 15:00 ~ 総会・在校生表彰式
16:00 ~ 記念講演 17:00 ~ 懇親会

会場

グランディエールブクトーカイ4階
静岡市葵区紺屋町17-1(葵タワー内) TEL 054-273-5225

会費

10,000円 懇親会チケット代

幹事

主幹事 102期 / 副幹事 103期・112期

○諸般の事情により、ご参加には事前予約をお願いします(当日券なし)。
○予約、チケット購入については各期幹事様にお問い合わせください。

記念講演 「湯空間の設計」 今井健太郎

銭湯設計の第一人者として銭湯の再興に貢献してきた今井健太郎。大学4年の時にガウディ作品に触れ、公衆の中で醸成された建築とアートの融合に魅力を感じて建築家を志す。会社員を辞め、銭湯に通うことを日常としていた折に出会ったひとりの老人との会話が、銭湯設計を志すきっかけ。自らの手で膨大な数の銭湯を巡り、ノウハウとデータを手作業で集めることから始まった銭湯設計は、単なるリノベーションでもモダンライズでもなく「懐かしくて新しい湯空間」を目指した地域の独自性や、歴史、文化を尊重するもの。天然素材、昔ながらのペンキ絵、そして最新設備。日本のお風呂文化を未来へ継承する「銭湯建築家」が『湯空間の設計』を語る。



今井健太郎: 静岡高校102期 武蔵野美術大学・同大学院 造形研究科修了(株)今井健太郎建築設計事務所 代表取締役